



令和8年度 厚真中央小学校 グランドデザイン

小中一貫教育 目指す子ども像

未来を語れる厚真の子 ～思いをつなぎ、未来を拓く～



- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・北海道教育推進計画
- ・胆振管内教育推進の重点
- ・厚真町教育目標

教育目標

強く・正しく・明るく

- ・教育の今日的課題
- ・児童の願い
- ・保護者の願い
- ・教師の願い
- ・児童の実態

目指す子ども像

強い心を持つ子ども (体)	正しい心を持つ子ども (知)	明るく優しい心を持つ子ども (徳)
・強い心を持ち、運動で体を鍛える子ども ・目標に向かって、粘り強くやりとげる子ども	・正しく判断し、学び合う子ども ・基礎基本を身に付け、自信を持って表現する子ども	・明るく礼儀正しい子ども ・お互いを認め合う優しい子ども

目指す学校像

- 子どもの良さを伸ばす、豊かな学びのある学校
- 心の響き合う、温かな雰囲気のある学校
- 期待と信頼に応える魅力ある学校

目指す教師像

- 教育実践に情熱を傾け、学ぶ姿勢をもつ教師
- 子どもをよく理解し、認め励ます教師
- 目標や課題に向かい、協働する教師

育てたい
資質・能力

TPO力(状況にあった言葉づかい・態度・服装)
発信力・受容力(気持ちの伝え方・受け取り方)
学ぶ力(学び方を学ぶ・選ぶ、学ぼうとする)
気付く力(多面的多角的な視野)

つなぐ力
(人間関係・社会形成能力)
拓く力
(課題解決・課題対応)



ふるさと厚真に根ざした学校づくり

～「好き」を育み「得意」を伸ばす～

目指す12歳の児童像「しなやかな心を持った厚真の子～大人への土台を築く」



学校経営の理念

「通いたい」「通わせたい」「働きたい」「支えたい」
～家庭・地域と共に創る子どもが主役の魅力ある学校～

全学年で定着を目指す言葉
ありがとう ごめんなさい
たすけて だいじょうぶ？

確かな学力

- 厚真スタイルの確立
- エビデンスに基づく授業改善
- 外国語・コミュ科推進
- 主体的・対話的で深い学び
- デジタルとリアル、デジタルとアナログの最適な組合せ
- 学びの保障 ○学び直し
- 専科・講師と担任との連携

豊かな心

- 「特別の教科 道徳」の充実
- いじめを許さない、バウンダリー尊重の学校・学級風土醸成
- 真心のある挨拶・言葉づかい
- 心のサポート(関係機関との連携)
- 縦割り班活動の充実
- 本を楽しむ意識の醸成
- 意見表明の機会確保

健やかな体

- 体力テストに基づく授業改善
- 基本的な生活習慣の確立
- 遊びを通した日常的な体力向上の取組
- マッスルタイムの充実
- 食に関する指導(栄養教諭との連携)

厚真の教育

英語教育・コミュニケーション科・ふるさと教育の充実
厚真中学校・こども園との連携
町教育研究所との連動

家庭・地域との連携

コミュニティ・スクール
「教育活動が見える」情報発信
PTA・ボランティア
特別支援教育・通級に係る理解

教職員

経営参画意識と専門性の向上
信頼関係に基づく教育活動
児童理解を基盤とする生徒指導
コンプライアンスの徹底
働き方改革の推進